

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

**\* 旧本館屋根、26吋ドーム（窓が写っている）、60m 鉄塔が写った写真**

旧本館のいい写真は残っていない、そして窓のある26吋ドームもアーカイブ室を始める前には知らなかった。そして60m鉄塔についてもそうであった。それぞれに歴史的に貴重な史実である。この3者が写った写真を東京天文台100周年記念誌資料のリスト作りをしていて発見した（写真1）。

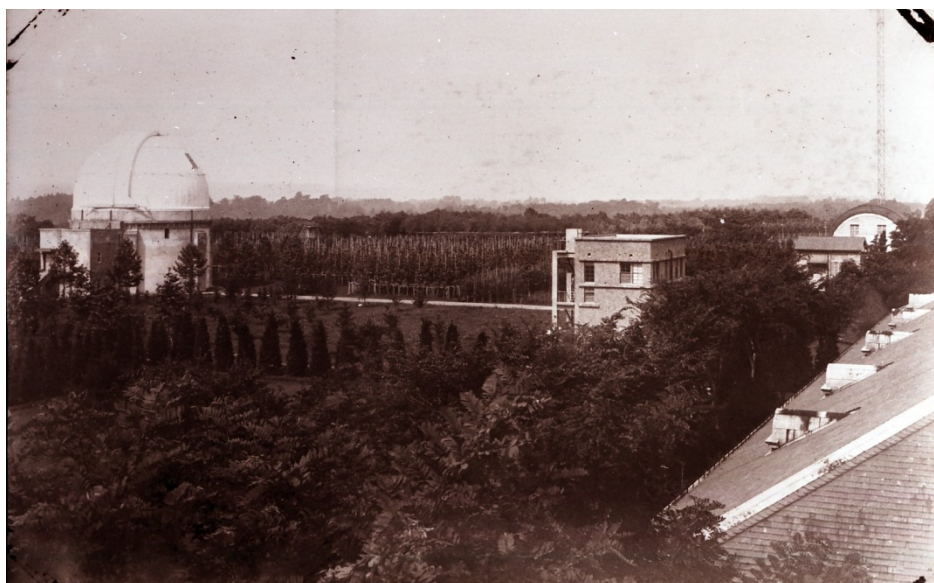


写真1 左から26吋ドーム、旧図書館、旧本館

写真1の旧本館の向こうにレプソルド子午儀室、ゴーチエ子午環室、60m鉄塔が見えている。26吋ドームには窓が写っている。実は資料の中にこの写真の裏焼きの写真があった（写真2）。この2枚の写真は果してどちらが本当の景色か迷ってしまった。

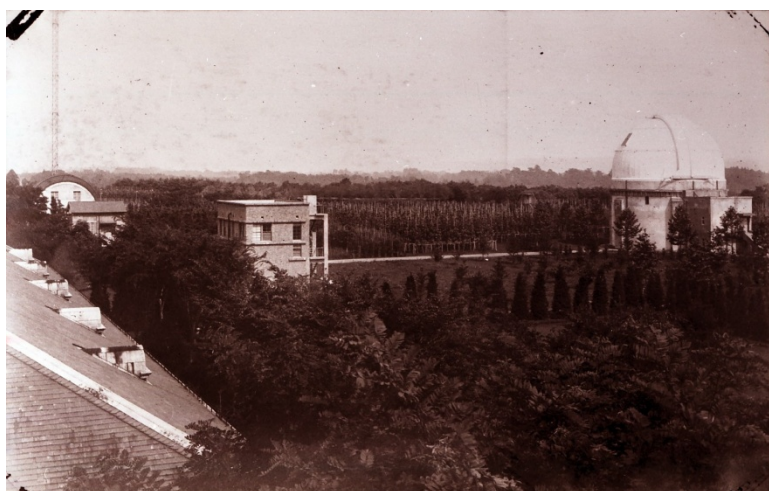


写真2 写真1の裏焼き

よく考えながら見ると、26 吋ドーム玄関、旧図書館の玄関から写真 1 が本物で写真 2 は裏焼きだということが分かる。いろいろ迷った原因の一つは、60m 鉄塔が 2 本写っているように見えることであった。なにしろ古い写真で 26 吋ドームの右の線状の汚れが鉄塔のように見えたのである。

この写真では、現在の森のような景色はない。平屋の旧本館を凌ぐ高さの木もないように見える。ゴーチエ子午環の南の視準点の建物も見えているが、現在ではこの建物は森に埋もれて全く姿を消しているが、現存している。

同じ資料の中に旧本館の玄関の写真もあった（写真 3）。玄関前の植え込みが写っているが、これは現在のロータリーであろう。



写真 3 旧本館の玄関

そして、やはり今はないブラッシャー天体写真儀ドームの写真もあった。

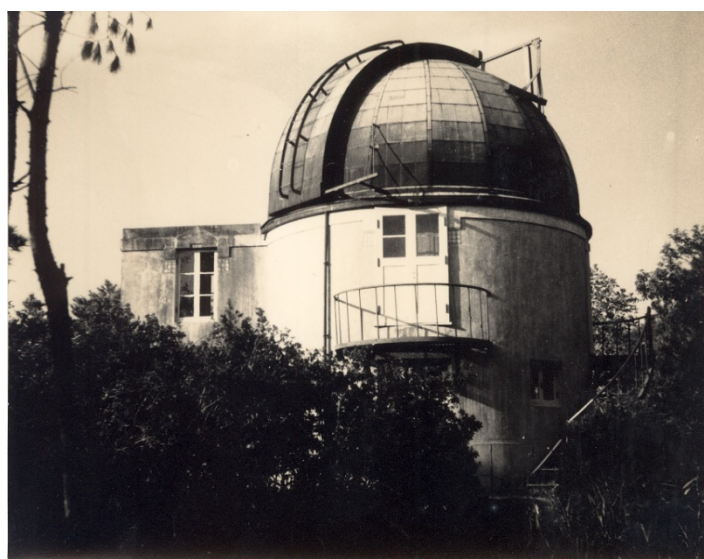


写真 3 ブラッシャー天体写真儀ドーム